

大使館安全情報
【邦人被害強盗事件に伴う注意喚起】

2015. 9. 8

在アルゼンチン日本国大使館
警備対策官兼副領事

「住居押し入り強盗被害」

【日時】2015年8月31日(月)03:00頃

【場所】ブエノスアイレス市レコレータ地区、集合住宅

【被害】現金、ゴルフバッグ、iPad、一眼レフカメラ、時計等
(約8,000米ドル相当)

【怪我】なし

【概要】

短期下宿先の集合住宅内2階(地上階の上)の自室で就寝中、別室の窓から4~5人の男が侵入し、被害者の手足を縛った上で室内を物色し、金品を強奪した。当時、同住宅内には被害者とオーナー(80代女性)が住んでおり、同様に被害に遭った。

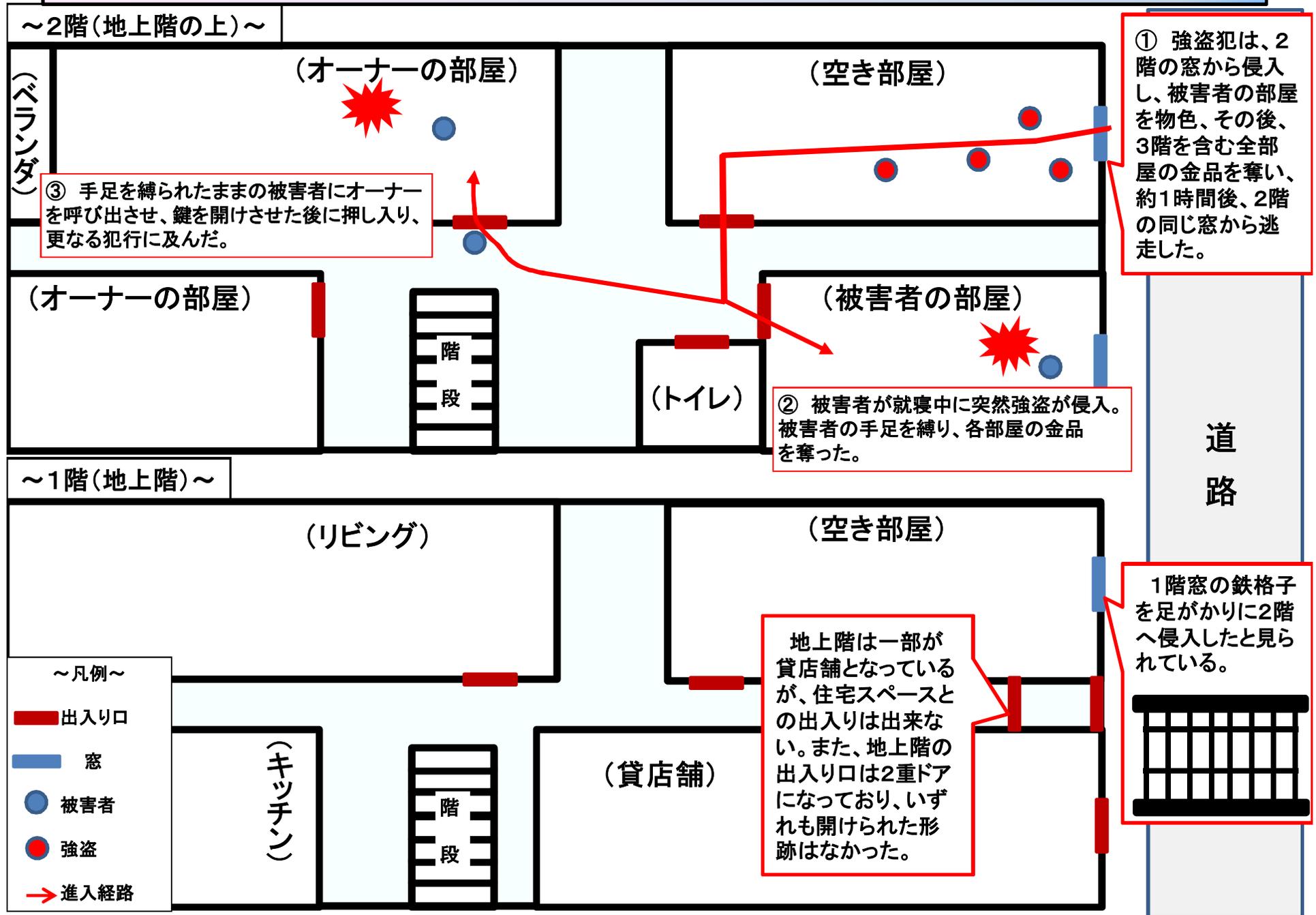
被害当日は、オーナーが空き部屋の窓を閉め忘れており、警察の調べによると男たちは開いていた2階の窓から侵入し、犯行後、同じ窓から逃走した模様である。

当該集合住宅は、街中の通りに面する一軒家形態の建物で、特別な常駐警備員やセキュリティ設備は無く、地上階入りロドアが2重になっているのみであった。

強盗が物色している間、被害者は約1時間程度にわたり拘束され、常に見張られていた。強盗が逃走する際、部屋の外から鍵をかけられていたが、その後、オーナーが大声でベランダから近所に助けを求め、警察へ通報された。

強盗犯は逃走中であり、現在も警察による捜査が続いている。

集合住宅見取り図(1階(地上階)~2階(地上階の上))



教訓事項等

【事件当時の細部状況等】

- 被害に遭った時間は午前3時頃であり、**通りにも殆ど人が無い時間帯の犯行だった。**
- 当該集合住宅にはオーナーと被害者の他は誰も入居していなかった。
- 当時オーナーも就寝中であり、部屋の鍵はかかっていたが、**被害者を利用してオーナーを呼び出し、鍵を開けさせた上で更なる犯行に及んだ。**
- 金品の殆どを持ち去られたが、携帯電話は盗られなかった。（GPS機能による追跡を避けるためと思われる。iPadも追跡が可能であるが、ネット接続された形跡がないため追跡不能だった。）
- **犯行の際、窓の雨戸を全て閉じ、外からは見えないようにした上で、物色していた。**
- 強盗は物色する間、携帯電話で誰かと話しており、外に車両で待機している仲間がいたものと思われる。また強盗は誰も顔を隠しておらず、**白人と浅黒い肌色の人種のグループだった。**

【再発防止策】

- 住居選定の時点で、**①24時間警備員が常駐、②防犯カメラ等セキュリティ設備、③可能な限り高層階(4階以上が望ましい。)、④敷地の周囲が柵等で囲まれた住宅、**を考慮し安全対策措置が施された住居を選定する。（上記の最低3つは該当することが望ましい。）
- 夜間は必ず、**窓(雨戸も含む。)**や扉を閉め、施錠する。
- 自宅の部屋番号等を、安易に他人に知らせない。（「日本人＝金持ち」のイメージ）
- **万が一強盗に遭ってしまっても、決して抵抗しない。(人命を最優先)**

【警備対策官コメント】

本事件は、**被疑者が一切抵抗しなかったため、物的被害のみ**で済んだものです。一般に強盗は銃器を所持しているものと考えべきであり、万が一襲われた際には、**両手をあげ、決して抵抗しないのが鉄則です。**また、自ら財布を取り出す等、**抵抗と勘違いされる動作(銃を取り出すと勘違いされる)**も決してしないことも重要です。

参考資料：押し入り強盗記事（2015年1月～6月）

日付	カテゴリ	事件	場所
1月30日	強盗・殺人	30日16時頃、プ州AVELLANEDA市の八百屋において武装した男が押し入り、店番をしていた14歳の少女に金品を要求した。女性は現金と携帯電話を渡したあとに恐ろしくなって叫び始めたため、強盗は銃を発砲して殺害した。強盗犯は店の外で待機していた仲間とバイクに乗って逃走した。	プ州：AVELLANEDA
2月4日	強盗・殺人	4日15時頃、プ市PALERMO地区のマンションに、武装した2人組の男が侵入し、入り口付近にいた同マンションの管理人を襲って金品を要求したが管理人は、強盗犯の腕を噛むなどをして抵抗したため、2人は閉まっていたドアの横のガラスを割って逃走した。しかし、管理人の叫びなどを聞いた隣人は警察に通報していたため、強盗犯らはタクシーに乗ろうとしたところで駆けつけた警察によって逮捕された。事件後の調べで、タクシー運転手は盗もうとしたマンションの住民で、強盗犯からは同マンションの入り口の鍵などが押収されたため共犯者であることが判明した。	プ市：PALERMO (SINCLAIR 3100)
2月10日	強盗・殺人	10日14時半頃、プ市SAN NICOLAS地区にある両替所に3人組の武装強盗が押し入り、中にいた社長とその妻を襲って金品を要求。強盗犯は物色中に、偶然戻ってきた社長の息子とボディガードと鉢合わせになり、銃撃戦に発展した。これによって、強盗犯2人が負傷して逮捕され、1人が逃走した。	プ市：SAN NICOLAS (TUCUMAN 540)
2月11日	強盗・殺人	11日23時頃、プ市CABALLITO地区のアイスクリーム店で、武装した男2人が押し入り、中にいた店主と客を襲って金品を要求。しかし、客としていた1人の男性が、ノートブックを奪おうとした強盗に抵抗し、発砲されて負傷した。強盗は店内にいた客から奪った携帯電話を持って逃走した。発砲された男性は病院に搬送されて治療を受けた。	プ市：CABALLITO (EMILIO MITRE Y ALBERDI)
2月22日	強盗・殺人	22日1時20分頃、プ市BELGRANO地区のレストランにおいて、武装した4人組が押し入り、店員に暴行を加えレジから現金を持って逃走した。しかし、通報を受けて駆けつけた警察官が強盗団を追跡し、銃撃戦の末4人を逮捕した。	プ市：BELGRANO (MENDOZA 2300)
2月27日	強盗・殺人	27日2時頃、チュブ州において、銀行で会計担当の29歳の男性が、自宅で寝ていたところを覆面をした4人組の男に襲われて、勤務している銀行へ連れて行かれた強盗は男性にATMを開けさせて62万5千ペソの現金を持って、再び男性宅に戻った。その後自分の車に乗せられて、国道3号線で解放された。	チュブ州
3月17日	強盗・殺人	17日4時半頃、プ州FLORENCIO VARELA市において、自宅で寝ていた24歳の男性が、窓から侵入した2人組の男に襲われ、抵抗したため刃物で首を刺されて死亡した。その後強盗犯は、叫び声を聞いて駆けつけた男性の父親を脅し、寝室にあった液晶テレビを持って逃走した。事件から数時間後、警察は17歳の男を容疑者として逮捕した。	プ州：FLORENCIO VARELA
3月19日	強盗・殺人	17日23時半頃、プ州QUILMES市において、74歳の男性が自宅に入った武装した3人組の強盗に襲われ、抵抗したため発砲されて死亡した。男性は自宅の2階でテレビを見ていて、1階にいた妻の叫び声を聞いておりた際に、3人組に男が妻を襲っているところを目撃し、助けようとして発砲された。強盗犯はなにも盗まず逃走した。	プ州：QUILMES
4月10日	強盗・殺人	10日未明、コルドバ州において、拳銃で武装した強盗4人組が民家に押し入り、就寝中だった夫婦を脅して金品を差し出すように指示した。しかし、家主は恐怖に負けることなく、一瞬の隙をついて壁にかけていた日本刀を振りかざし強盗2人に重傷を負わせた。3人は逃走したが、傷を負っていたことから足が付き、後に逮捕された。	コルドバ州
4月24日	強盗・殺人	24日15時頃、プ州LINCOLN市のSANTANDER RIO銀行に60歳前後の武装した男性が押し入り、窓口の行員を脅して現金を要求した。直後に支店関係者が非常通報ボタンを押し、パトカーが直ぐに駆けつけたため、男は銀行に立てこもり8人の人質を取った。事件発生から6時間が過ぎたころ、プ州警察の特集部隊が突入して残っていた2人の人質を救出し、男を逮捕した。	プ州：LINCOLN
5月9日	強盗・殺人	9日21時15分頃、プ市BELGRANO地区のマンション3階のエレベーターホールで待っていた62歳の女性とその息子が、エレベーターがついてドアが開いた瞬間、中にいた2人組の武装強盗に銃を突きつけられ、自宅に連れて行かれた。エレベーターには、強盗2人の他に、2階の隣人が乗っていたため、その2人も女性の自宅を連れていかれ4人も縛られた。強盗犯は、女性宅から現金とパソコンを奪ったあと、2階の隣人宅に向かって現金を強奪し、その後外で待機していた仲間と連絡を取り、車で逃走した。	プ市：BELGRANO (OLAZABAL 3200)
6月7日	強盗・殺人	7日1時半頃、プ市SAN CRISTOBAL地区の有料駐車場に、武装した4人組の男が押し入り、従業員を脅して車を強奪し、現場に現れた車と2台で逃走した。しかし、駐車場付近にいた警官は逃走現場を目撃し、追跡と銃撃戦に発展した。これにより、強盗団一味の1人が逮捕されて、3人が逃走した。	プ市：SAN CRISTOBAL (HUMBERTO PRIMO 2000)
6月12日	強盗・殺人	12日15時頃、プ市CABALLITO地区のSANTANDER RIO銀行で、武装した3人組がATMに現金を補給していた行員を襲い、現金を奪って車で逃走。しかし、銀行近くにいた警察が目撃したため、パトカーで追跡と銃撃戦が繰り広げられた。強盗犯の車はバスに衝突し、その場で強盗1人が逮捕され、残りの2人は車で走行していた女性を襲い、車を奪って逃走した。	プ市：CABALLITO (ALBERDI 1600)
6月16日	強盗・殺人	16日20時頃、サンタ・フェ州ROSARIO市の美容整形クリニックに、客を装った男2人が押し入り、中にいた医者、職員や客から金品を奪って逃走した。	サンタ・フェ州
6月30日	強盗・殺人	30日19時頃、プ市VILLA URQUIZA地区のバーに3人組の武装強盗が押し入り、中にいた客や店員を襲って金品を強奪した。偶然、バーの中にいた俳優のDIEGO PERETTI氏も、作業していたパソコンを奪われた。	プ市：VILLA URQUIZA (AV DE LOS INCAS)
7月1日	強盗・殺人	1日15時頃、プ州TRES DE FEBRERO市のCASEROS地区のGALICIA銀行において、武装強盗4人組が銀行員が武装強盗4人組が銀行員がATMに現金を補給していたところを襲って、約100万ペソの現金を奪って逃走した。	プ州：TRES DE FEBRERO

おわりに

今回の安全情報についても、被害に遭われた方から積極的に情報提供していただいた事により、詳細な情報を広く周知することができました。心より感謝申し上げます。

大使館としましては、引き続き治安関係情報の収集に努めるとともに、皆様の安全に関わる情報について広く共有していきたいと考えております。

つきましては、被害の有無にかかわらず、邦人の安全に関わる情報がありましたら、大使館までお寄せいただきますようお願い申し上げます。

(※ 特に、**ブエノスアイレス近郊における危険地域(ビジャ情報や強盗多発地域情報等)**に関する情報がありましたらご一報いただけますと幸甚です。)

【大使館連絡先】

- 大使館代表
電話番号：(54-11)4318-8200 メール：taishikan@bn.mofa.go.jp
- 大使館領事部
電話番号：(54-11)4328-8220 メール：conbsas@bn.mofa.go.jp
- 竹熊警備対策官兼副領事
電話番号：(54-15)5327-0217 メール：kenichiro.takekuma@mofa.go.jp